

# 取扱説明書

(取付けの説明を参照)

コレット交換工具



取扱説明書の翻訳

## 目次

1	一般事項	6
1.1	この取扱説明書について	6
1.2	記号の説明	6
1.3	用語の定義	8
1.3.1	アークランプポジション	8
1.3.2	全クランプ予備ストローク	8
1.4	賠償責任の制限	8
1.5	著作権	8
1.6	同梱品	9
1.7	スペア部品と付属品	9
1.8	保証期間	9
2	安全	10
2.1	作業員の責任	10
2.2	操作員の要件	10
2.3	用途に従う適切な使用	11
2.4	作業員の安全装備	13
2.5	特殊な危険	15
2.6	その他の安全注意事項	16
2.7	ネジ	18
2.8	機能性	18
2.9	環境保護	18
3	テクニカルデータ	19
3.1	一般仕様	19
3.2	性能指標	19
3.3	運転条件	19
3.4	型式の表示	19
4	構造と機能	20
4.1	部品の図と概要説明	20
5	使用	21
6	輸送、梱包、保管	22
6.1	安全な輸送、梱包、保管	22
6.2	梱包用記号	23
6.3	輸送点検	23
6.4	開梱および社内輸送	24
6.5	梱包	24
6.6	保管	25
6.7	防錆処理	25

6.8	再保管	25
7	使用に関して	26
7.1	安全な使用	26
7.2	取付けのための機械の前準備	27
7.3	クランプエレメントの取付け	28
7.3.1	片手操作	29
7.3.2	両手操作の機能説明図	31
7.3.3	両手操作	32
7.4	取り外しのための機械の前準備	36
7.5	クランプエレメントの取り外し	37
7.5.1	片手操作	38
7.5.2	両手操作	40
7.6	チェック	44
8	お手入れ	45
8.1	メンテナンス時の安全性	45
8.2	メインテナンスのスケジュール	45
8.3	清掃	46
8.4	目視点検	47
8.5	製品の潤滑	47
9	廃棄処理	48
9.1	エア抜き	48
10	不具合	49
10.1	不具合発生時の処置	49
10.2	トラブルシューティング	49
10.3	不具合が解決した後の起動	50
11	付属書	51
11.1	お問い合わせ	51
11.2	適合宣言	51

## 表一覧

表 1:	テクニカルデータ .....	19
表 2:	運転条件 .....	19
表 3:	障害表（トラブルシューティング） .....	50

## 1 一般事項

### 1.1 この取扱説明書について

本書は本製品の安全で効率的な取扱いを目的としています。本書は製品の一部です。いつでも手に取れるように、本製品とともに保管して下さい。すべての作業を始める前に、本説明書を注意深く最後までお読み頂き、内容をご理解下さい。ここに示した注意事項は、製品を安全にお使い頂き、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するものです。いずれも安全に関する内容ですから、必ずお守り下さい。

本製品を第三者に譲渡する場合は、本説明書も一緒にお渡ししてください。

本書の図版は基本的な理解を得ていただくために使用しており、実際の製品とは異なることがあります。



#### 警告

個々の製品やそれらの不適切な組み合わせによって、重大な損傷が生じる可能性があります。

- 個々の製品とその組み合わせのすべての取扱説明指示を読み、それに従う必要があります。

### 1.2 記号の説明

本書では安全情報が一目で分かるアイコンを使用しています。安全上の注意事項は、その危険度がもたらす重大性を示すシグナルワードで説明されます。

致死事故や重傷の能性ならびに物的損害の発生を避けるために、安全上の注意事項は必ず守り、正しくお取り扱い下さい。

安全上の注意事項・表示  
について



#### 危険

… 危険が回避されない場合は、その結果死亡または重傷を負うような、差し迫った危険な状態を示しています。



#### 警告

… 危険が回避されない場合に、その結果死亡または重傷を負う可能性のある潜在的な危険がある状態を示しています。



#### 注意

… それらが回避できなかった場合、軽傷またはケガをする可能性のある、潜在的な危険がある状態を示しています。

ヒントと推奨事項



留意事項

… それに反した場合、物的損害が生じる可能性のある状態を示しています。



情報

… 効率的で適切な使用に役立つヒント、推奨事項および損害を未然に防ぐための情報を示しています。



安全な取り扱いのための他の資料の参照を促しています。

製品や個々の部品には、警告ラベルが付いていることがあります。

致死事故や重傷の可能性ならびに物的損害の発生を避けるために、警告ラベルの指示は必ず守り、正しくお取り扱い下さい。

…溜められた応力（バネなど）の危険を警告しています。



…手を負傷する危険があることを警告しています。



…製品の取扱説明書を読む必要があることを示しています。



## 1.3 用語の定義

### 1.3.1 アンクランプポジション

アンクランプポジションは、コレットチャックのクランピングを解除するポジションです。コレットチャックがアンクランプ状態になると、ワークも同時に自由に動くようになります。

### 1.3.2 全クランプ予備ストローク

全クランプ予備ストロークは、ワークなしでコレットチャックでチャッキングすることです。全ストロークが送り出され、コレットチャックは予備ストロークの終端位置になります。

## 1.4 賠償責任の制限

本説明書のすべての記述と参照事項は、該当する各規格および規制、技術水準、ならびに当社の長年にわたる知識と経験をもとに作成しております。

製造元は次の原因による損傷に対し、一切の賠償責任を負いません：

- 設置説明書の指示を守らない使用
- 用途に従わない使用
- 適切な訓練を受けていない作業員による使用
- 無許可での改造
- 使用者による技術的な変更
- 指定されたスペア部品以外の使用
- 許可されていない付属品の使用

納入契約に付随する合意された責任、普通取引約款と製造元の出荷条件、および契約締結時に有効であった法規定が適用されます。

## 1.5 著作権

本設置説明書は著作権で保護されており、専ら内部使用を目的としています。

製造元からの文書による許可なしに、内部使用目的以外で本取扱説明書を第三者への譲渡、あらゆる方法および形態（抜粋を含む）による複製、ならびに本書の内容を利用および／または開示することを固く禁じます。

違反した場合は損害賠償が課せられます。当社はその他、追加の要求を実施する権利を保留します。

## 1.6 同梱品

以下は、ご注文品の付属品として製品に同梱されます。

- コレット交換工具
- 取扱説明書

以下の工具が追加で必要になり、オプションとしてご注文いただけます。

- コレット交換工具ホルダー

## 1.7 スペア部品と付属品



### 警告

誤ったスペア部品や欠陥のあるスペア部品を使用すると、**重大な損傷が生じる可能性があります。**

- メーカー純正のスペア部品のみご使用ください。



### 留意事項

誤ったスペア部品や欠陥のあるスペア部品を使用すると、**製品の損傷、誤作動、あるいは機器の全損に至ることがあります。**

- メーカー純正のスペア部品のみご使用ください。

スペア部品と付属品は、販売代理店または直接製造元からご購入いただけます（「お問い合わせ」の章を参照）。

基本的に、消耗部品やワークが接触する部品は保証の対象外です。

## 1.8 保証期間

保証期間は製造元の普通取引約款に記載されています。

## 2 安全

このセクションでは、作業員の最大限の安全と、安全で機能不良のない運転のために、安全に関するあらゆる重要な側面について概説します。

### 2.1 作業員の責任

本製品は産業分野で使用されます。本製品を使って加工を行う事業主は、作業員の労働安全について法的責任を負う義務があります。

本取扱説明書の安全情報のほかに、本製品の用途に関して適用される安全性、事故防止、環境保護に関する現地の適用法規制を遵守し、工作機械の取扱説明書の説明に従って下さい。

製品の改造は禁止されています。改造に起因する負傷や物的損害は、すべて事業主の責任となります。

### 2.2 操作員の要件



#### 警告

所定の資格を持たない作業員が作業した場合、本製品の誤った取り扱いによって重傷を負う危険があります。

- すべての作業は、必ず、その作業を行う資格のある専門作業員が行ってください。



#### 警告

関係者でない人員が作業区域に許可なく立ち入ると、重傷を負う危険があります。

- 関係者以外の人員が作業区域に立ち入らないようにしてください。
- 関係者かどうか不明な場合は、作業区域への立ち入りを拒否してください。
- 関係者以外が作業区域にいる間は、作業を中断してください。



#### 留意事項

所定の資格を持たない作業員が作業した場合、本製品の誤った取り扱いによって重大な損傷を与える危険があります。

- すべての作業は、必ず、その作業を行う資格のある専門作業員が行ってください。

本取扱説明書では各種の作業範囲について、次の資格が指定されています。

### 専門作業員

専門作業員は、専門的な教育、知識、経験ならびにその地域の当該法規の知識に基づいて、割当てられた作業を実行し、起こり得る危険を把握し、回避できる人員です。

### 油圧機器専門作業員

油圧機器専門作業員は、従事する特殊な作業領域に関する教育訓練を受け、関連する各種基準および法規の知識を有している人員のことを指します。

油圧機器専門作業員とは、専門的な教育と経験に基づいて油圧設備での作業を遂行し、潜在的な危険を自発的に察知し、回避することができる者としてします。

### 空圧機器専門作業員

空圧機器専門作業員は、従事する特殊な作業領域に関する教育訓練を受け、関連する各種基準および法規の知識を有している人員のことを指します。

空圧機器専門作業員とは、専門的な教育と経験に基づいて空圧設備での作業を遂行し、潜在的な危険を自発的に察知し、回避することができる者としてします。

### 電気技術者

電気技術者とは、従事する特殊な作業領域に関する教育訓練を受け、関連する各種基準および法規の知識を有している人員のことを指します。

電気技術者とは、専門的な教育と経験に基づいて電気設備での作業を遂行し、潜在的な危険を自発的に察知し、回避することができる者としてします。

### 研修生

研修生は、その専門分野の専門作業員による監督と指導の下でのみ、機械の作業にあたることができます。

作業を確実に実行すると期待できる作業員にしか、作業は認められません。たとえば、麻薬、アルコール、薬物例により、対応能力に影響がある者は作業員として不適合です。作業員の選定においては、工場の拠点で適用される年齢・職業関連法規を遵守して下さい。

## 2.3 用途に従う適切な使用

コレット交換工具は、クランプエレメントの脱着での使用を目的としています。これらは工作機械に残ってはいないものであり、加工開始前には取り除く必要があります。

コレット交換工具を取り付けた状態で、機械のスピンドルを回転させないでください。

本製品は、取扱説明書に記載された用途のみに設計されています（「使用」の章を参照）。さらに、それ以外の使用目的を製造元と事業主の間の契約により取り決めることができます。

本製品の操作およびクリーニングは、それぞれの分野の訓練を受けた専門操作員のみ認められています（「操作員の要件」の章を参照してください）。

本製品は、指定された技術データの値の範囲でのみ運転できます（「一般仕様」および「運転条件」の章を参照）。

製品は定期的にお手入れしてください（「メンテナンス間隔」の章を参照）。

本製品の動作信頼性は、適用が想定されるすべての関連安全基準を遵守して、指定用途に基づいて使用した場合に限り保証されます。

規定用途に従う適切な使用には、本取扱説明書のすべての記載事項を守ることも含まれます。

本製品を規定の用途に反して使用したり、規定の用途以外に使用したりする場合は製品の濫用となり、危険な状態を招く可能性があります。



## 警告

**製品の誤った使用により重傷を負う危険があります！**

- 加工作業中は、コレット交換工具を機械の作業領域に置いたままにしないでください。
- コレット交換工具を取り付けた状態で、絶対に機械のスピンドルを回転させないでください。
- 所定の使用目的でのみお使いください（「使用方法」の章を参照してください）。
- 本製品は、それぞれ専門分野の訓練を受けた専門操作員のみ使用してください（「操作員の要件」の章を参照してください）。
- 本製品について指定されているテクニカルデータの範囲を超えた使用を禁止します（「一般仕様」と「運転条件」の章を参照してください）。
- 製品は定期的にお手入れしてください（「メンテナンス間隔」の章を参照してください）。
- 互換性のあるクランプエレメントのみに使用してください。



### 留意事項

製品の誤った使用により物的損害が生じる可能性があります！

- 加工作業中は、コレット交換工具を機械の作業領域に置いたままにしないでください。
- コレット交換工具を取り付けた状態で、絶対に機械のスピンドルを回転させないでください。
- 所定の使用目的でのみお使いください（「使用方法」の章を参照してください）。
- 本製品は、それぞれ専門分野の訓練を受けた専門操作員のみ使用してください（「操作員の要件」の章を参照してください）。
- 本製品について指定されているテクニカルデータの範囲を超えた使用を禁止します（「一般仕様」と「運転条件」の章を参照してください）。
- 製品は定期的にお手入れしてください（「メンテナンス間隔」の章を参照してください）。
- 互換性のあるクランプエレメントのみに使用してください。

規定の用途以外での使用に起因する損傷に対する請求には一切応じかねます。

本装置の規定用途に反する使用には、たとえば以下のものがあります。

- 製品が意図しないクランピングエレメントに使用された場合。

## 2.4 作業員の安全装備

健康上のリスクを最小限にするために、作業時においては安全装備の着用が必要です。

作業中は、常にそれぞれの作業に必要な安全装備を着用して下さい。

作業区域の該当する安全装備に従って下さい。

### 基本的な装備



すべての作業において、基本的に以下の着用が義務づけられます。

#### 作業用衣服

体型にぴったりフィットした、袖口が狭く、だぶついでいない、破けにくい素材の安全作業服を着用して下さい。こうした安全作業服は、主に機械の可動部分に挟まれるのを防ぎます。指輪、ネックレス、その他のアクセサリーは身につけないで下さい。



### 安全靴

重い部品が落下した場合や、滑りやすい床での転倒から守ります。



### 保護めがね

部品の飛散や液体の飛沫から目を守ります。



### 耳の保護

騒音の影響から耳を保護します。



### ヘアネット

機械の回転部品に長髪が巻き込まれるのを防ぎます。

### 追加の安全装備

特殊な作業を行う場合には、追加の安全装備が必要です。これらの作業については、本取扱説明書のそれぞれの章で別途説明します。ここでは、追加の安全装備について説明します。



### 保護手袋

擦り傷、擦りむき、挟み込みや深い裂傷、および高温表面への接触などによる火傷から手を守ります。



### 安全ヘルメット

部品や被削材の落下や飛散から頭部を守ります。

## 2.5 特殊な危険

次の項では、コレット交換工具に組付けられた本製品にクランピングエレメントを取り付ける際に発生する残留リスクについて説明します。いずれの場合も、事業主は機械のリスク評価により見つかった残留リスクを通知する義務があります。

健康上の危害を防止し、危険な状態を回避するために、ここに示した安全情報および本取扱説明書の後続の各章の注意事項を守ってください。

### 不適切な使用



#### 警告

破損したコレット交換工具により、重傷を負う危険があります！

- 損傷したコレット交換工具は、以降の使用を即時中止する必要があります[「障害表（トラブルシューティング）」の章を参照してください]。
- コレット交換工具が破損している場合は、すぐに製造者にご連絡ください。

### 鋭いエッジ部分



#### 警告

鋭いエッジ部分やバリにより重傷を負う危険があります。

- 各部品の取付けは、それぞれの専門作業に関する資格を有する専門作業員だけが行うことができます。
- 基本の装備に加えて、次の安全装備を着用してください。



### ストローク



#### 警告

製品のストロークにより激しい打撲や裂傷を負う危険があります。

- 可動部分には決して手を入れないでください。

## 2.6 その他の安全注意事項



### 警告

溜められた応力が解放されることにより、重傷を負う危険があります。

- そのようなネジを緩める際には、応力を最小限にしておくために、対角方向のネジを交互に均一な力で緩めてください。
- シールワックスで密閉されたネジは緩めないください。



### 警告

機械の作業領域に立ち入ることによって頭に重傷を負う危険があります。

- 切削工具や鋭利な物体がそこに置かれていない、またはそれにカバーがかかっている場合のみ、機械の作業領域に立ち入ることができません。
- 機械の作業領域のなかでは、部品が落下する危険がある位置に頭部が来ないようにしてください。



### 警告

シール材が装着されていない、または損傷していると、高圧下で媒体の漏出し重傷を負う危険があります。

- すべての媒体接続部にはシール材が装着され、損傷していない状態であることを確認します。
- 組み付け時やお手入れ時には毎回、シール材を潤滑してください。



### 警告

機械のスピンドルの回転時に身体の一部が挟まり、重傷を負う危険があります。

- 機械のスピンドルが回転している間、は決して製品に手を入れないでください。
- 製品で作業する前に、機械のスピンドルの作動が終了して切断されていることを確認してください。



**警告**

スリットやピン穴に指を差し込むと、重傷を負う危険があります。

- スリットやピン穴には決して指を入れないでください。



**警告**

損傷した製品や部品、またはそれらの付属品を使用すると、重傷を負う危険があります。

- 製品やその部品および付属品は、目に見える損傷がないか、定期的に点検してください（「点検」および「清掃」の章を参照）。
- 損傷した製品や部品、またはそれらの付属品の使用は禁止されています。
- 損傷がある場合はすぐに事業主に連絡してください。
- 損傷した部品/付属品は製造元純正のスペア部品/付属品と交換する必要があります。



**警告**

コレット交換工具の使い方を誤ると、落下物による重傷を負う危険があります！

- コレット交換工具は、クランプエレメントの脱着のみに使用することができます。



**注意**

漏れた液剤を踏んで滑ることで怪我をすることがあります！

- 液剤が漏れていないか、確認してください。
- 本製品を完全に空にしてください。



**注意**

摩耗や再加工を繰り返すことで鋭利なエッジやバリができ、深い切り傷を負うことがあります。

- 鋭利なエッジやバリは除去してください。
- 消耗した部品は、必要に応じて製造元の純正スペア部品と交換してください。

## 2.7 ネジ



### 警告

固定ネジを不正に緩めることで、重傷を負う危険があります！

- 固定ネジはどれも緩めないでください。
- これについて不明点がある場合は、直ちに製造者に連絡して、対応を問い合わせてください。

## 2.8 機能性



### 警告

製品のひどい汚れにより重傷を負う危険があります。

- 指定された清掃方法と清掃頻度は必ず守ってください（「清掃」の章を参照）。

## 2.9 環境保護



### 留意事項

環境に有害な物質の誤った使用や誤った廃棄により、環境に重大な損傷や支障を及ぼす危険があります。

- 環境にとって危険な物質を不注意で放出した場合は、直ちに適切な措置を講じて下さい。
- 疑わしい場合は、その事実を当該の地域当局に通報してください。

使用されている、環境に危険な物質は次のとおりです。

### 潤滑剤、添加剤、燃料

グリースやオイルなどの潤滑剤には毒性物質が含まれている場合があります。これらは一般ゴミとして廃棄できません。

環境に有害な物質は、専門業者に廃棄を委託する必要があります（「廃棄」の章を参照）。

### 3 テクニカルデータ

#### 3.1 一般仕様

製品にはさまざまなサイズやバリエーションがあり、バージョンによってその寸法や重量が異なります。

最小作動圧力 $p_{max.}$ [bar]	最大作動圧力 $p_{max.}$ [bar]
6	8

表 1: テクニカルデータ

#### 3.2 性能指標



##### 留意事項

最大性能データを超える状態で製品や工作機械を使用することにより、物的損害が生じる可能性があります！

- 製品の最大性能データを越えた運転はしないでください。
- 使用されるすべての製品の中で、最も低い最大性能データを超えないようにしてください。



##### 情報

最大性能データはそれぞれの製品に付いています。

#### 3.3 運転条件

指定値	値	単位
使用周囲温度範囲	15 - 40	°C
相対湿度	≤ 80	%

表 2: 運転条件

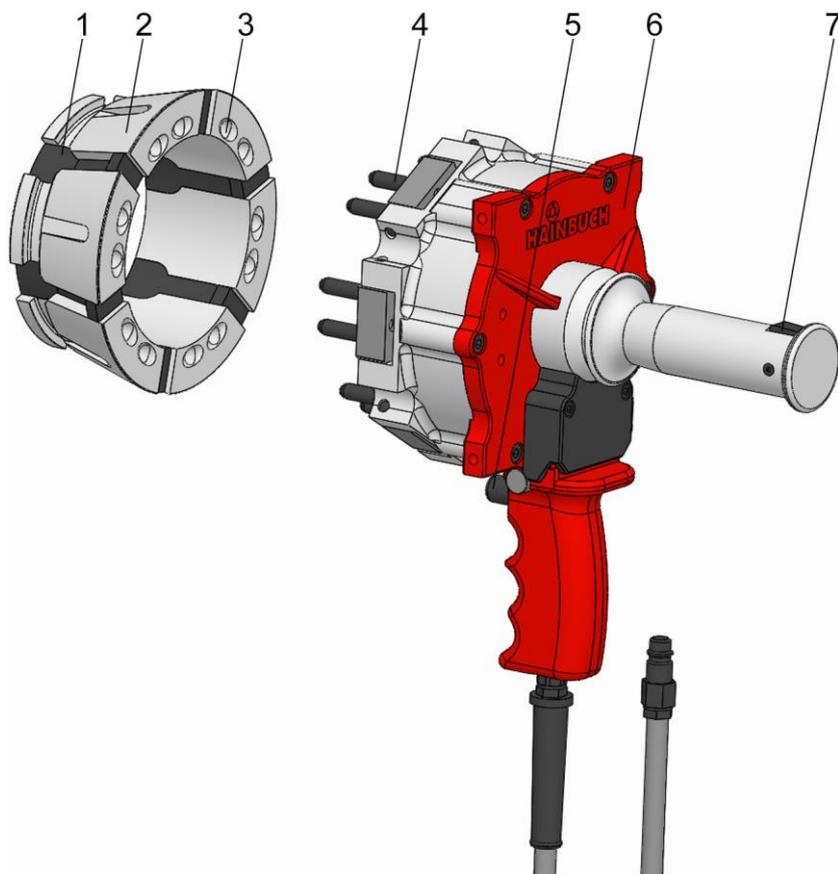
#### 3.4 型式の表示

型式は各製品に表示されており、以下の内容が記載されています。

- 製造者
- 製品名称
- 注文番号
- 製造年
- CE マーキング

## 4 構造と機能

### 4.1 部品の図と概要説明



- 1 カップリング部
- 2 クランピングヘッド [クランプエレメント]
- 3 交換用穴
- 4 ピン付きクランプ
- 5 スイッチ [片手操作] / スイッチ T1 [両手操作]
- 6 コレット交換工具
- 7 スイッチ T2 [両手操作]

コレット交換工具は、対応するコレットチャックへの、または対応するコレットチャックからクランピングヘッドを脱着するために設計されています。

このためにはクランピングヘッドに複数の交換用の穴が必要で、この穴にコレット交換工具の軸を嵌め込みます。

クランピングヘッドをコレット交換工具を作動してカップリング領域で圧縮することで、コレットチャックから脱着することができます。

圧縮エアを使って、空気圧で作動します。

サイズに応じて、片手または両手での操作が区別されます。

## 5 使用

本製品は、対応するコレットチャックからハインブッフクランプヘッドの組付けおよび取り外しのみに使用されます。

一般的な用途のほかにも、必要に応じて本製品は本書に記載された特殊用途にも使用できるように設計、開発されています（詳細はクランプ製図または注文内容をご覧ください）。

記載されている用途以外での使用には製造者の明示的な許可が必要です。

## 6 輸送、梱包、保管

### 6.1 安全な輸送、梱包、保管



#### 警告

不適切な運搬を行うと、製品やその部品の自重により、身体に大きな負荷がかかることがあります。

- 10 kg 以上の重量がある場合は、適切な輸送手段や吊り上げ装置、吊り具（スリング）を使用してください。



#### 警告

輸送が不適切であると、部品が落下し、激しい打撲や裂傷を負うことがあります。

- 製品が転がったり落下したりしないか、確認してください。
- 滑り止めの付いた支持台を使用してください。
- 吊り上げ装置を使用する場合は、適切なクレーンと吊り具（スリング）を使用してください。



#### 警告

輸送時の重心がずれていると、重傷を負う危険があります。

- パッケージのマークに気を付けて下さい。
- クレーン用フックは、重心を通るようにかけて下さい。
- 吊り上げは注意して行い、必要に応じて吊り具取り付け位置を修正してください。



#### 警告

吊り上げ装置を輸送が不適切であると、重傷を負う危険があります。

- 吊荷は絶対に人の頭上を通さないで下さい。
- 吊荷の下には決して立ち入らないで下さい。
- 指定された吊り具取り付け位置を守って下さい。吊り具がしっかりと取り付けられているか確認して下さい。
- 認可品の破損していない吊り上げ装置、クレーン、吊り具のみを使用してください。
- 吊り上げ装置、クレーン、吊り具の最大揚力を超えないようにして下さい。



#### 留意事項

輸送が不適切であると、部品が落下し、物的損害が生じる可能性があります。

- 製品が転がったり落下したりしないか、確認してください。
- 滑り止めの付いた支持台を使用してください。
- 吊り上げ装置を使用する場合は、適切なクレーンと吊り具（スリング）を使用してください。

## 6.2 梱包用記号



#### 壊れ物

パッケージの中身が壊れやすいものまたは精密なものであることを示します。

パッケージは慎重に取り扱い、倒したりぶついたりしないようにして下さい。



#### 濡らさない

パッケージは濡らさないようにし、乾燥した状態にして下さい。



#### 梱包状態ラベル

梱包品の正しい天地を示します。

## 6.3 輸送点検

製品が届いたら直ちに内容物が全て揃っているか、輸送中の破損がないかを確認して下さい。

外外観上、はっきりそれと分かる輸送時の破損があった場合は次のように対応して下さい。

- 配送された製品を受け取らない、または保留しておいて下さい。
- 損傷の程度を輸送書類または輸送会社の配達受領書に記入して下さい。
- 再請求を行って下さい。



#### 情報

欠陥などがあつたら、すぐに再請求して下さい。損害請求は、有効な再請求期間内でのみ行うことができます。

## 6.4 開梱および社内輸送

製品の総重量はサイズによって異なります。

製品やその個別部品を梱包から安全に取り出し、移動し、工作機械や機械テーブルに置いて機械に脱着するには、重要に応じて吊り上げ装置を使用する必要があります。

1. 本製品は安定した位置に梱包されています。
2. 本製品を慎重に梱包から取り出し、安定した平らな支持台に載せます。
3. 製品が転がらないように固定します。
4. 製品を運搬車両で運ぶ際には、滑り止めの付いた支持台に固定して輸送します。

## 6.5 梱包

個々のパッケージは、想定される輸送条件に合わせて梱包されています。梱包材には環境に優しい材料が使用されています。

梱包は、各部品が取り付けられるまで、輸送中の破損や腐食、その他の損傷から部品を保護するものです。このため、取り付けの直前に開梱して下さい。



### 情報

パッケージは緩衝材でくるまれ、段ボールに入っています。それぞれのチャックサイズの重量については、「一般仕様」の章を参照して下さい。

梱包材は、該当する法規および、その地域の既定に従って廃棄して下さい。



### 留意事項

梱包材の不適切な廃棄によって環境に悪影響を及ぼす可能性があります。

- 梱包材は環境にやさしい方法で、適切に処分して下さい。
- その地域の該当する廃棄物処理規定を守り、必要に応じて廃棄物処理専門業者に処理を委託してください。

## 6.6 保管



### 情報

保管および再保管に関して、ここに挙げる条件とは異なる注意がパッケージに記載されている場合があります。その場合は、当該の注意に従ってください。

パッケージは次の条件下で保管して下さい。

- 安定した状態に組付けます。
- 屋外に保管しないで下さい。
- 乾燥した、埃のない場所に保管して下さい。
- 刺激性のある液剤に曝さないで下さい。
- 直射日光が当たらないようにして下さい。
- 機械的な振動のない場所に置いて下さい。
- 保管温度：15～35° C
- 相対湿度：60 %以下
- 3 ヶ月以上の長期保管の場合は次のようにして下さい。
  - すべての部品および梱包の全体的な状態を定期的にチェックして下さい。
  - 必要に応じて、保管作業を再調整したり、やり直して下さい。

## 6.7 防錆処理

1. 製品を清掃します（「清掃」の章を参照）。
2. 製品の内側および外側表面に防錆用オイルを薄く塗ります。余分な防錆用オイルは柔らかい、糸くずの出ない布で拭き取ります。
3. 製品を気泡入り緩衝材で梱包します。
4. 製品を再保管します（「再保管」の章を参照）。

## 6.8 再保管

製品は次の条件下で保管して下さい。

1. 製品を保管します（「保管」の章を参照）。
2. 製品は固定して保管する必要があります。製品用のケース、滑り止めの付いた支持台を使用するか、周囲に固定枠の付いたラックを用意してください。
3. 保管条件については「保管」の章を参照してください。

## 7 使用に関して

### 7.1 安全な使用



#### 警告

資格のない作業者がコレット交換工具を使ってクランプエレメントの脱着を行うと、重傷を負う危険があります！

- コレット交換工具を使ったクランプエレメントの脱着作業は、それぞれ分野の有資格作業員のみが行うようにしてください。



#### 警告

工作機械の不測の稼働により重傷を負う危険があります。

- 工作機械を設定モードにします。
- すべての工具、作業用品、およびテスト装置は、使用後すぐに機械の作業領域から取り除いてください。
- 吊り具は必ず製品から、また機械の作業領域から取り除いてください。



#### 警告

機械の作業領域に立ち入ることによって頭に重傷を負う危険があります！

- 切削工具や鋭利な物体がそこに置かれていない、またはそれにカバーがかかっている場合のみ、機械の作業領域に立ち入ることができます。
- 機械の作業領域のなかでは、部品が落下する危険がある位置に頭部が来ないようにしてください。



#### 警告

クランピングヘッドのカップリング部やクランピングヘッドの隙間部分、またはコレット交換工具に手や指を入れると、激しい打撲や裂傷を負うことがあります。

- 作業中は決してカップリング部やクランピングヘッドの隙間部分、またはコレット交換工具内に手を入れないで下さい。



## 警告

クランピングヘッドの交換時に保護服を着用しないと、切傷を負う危険があります！

- 基本の装備に加えて、次の安全装備を着用してください：



## 注意

コレット交換工具をクランピングヘッドに不適切な配置をすると、打撲や裂傷を負う危険があります！

- コレット交換工具を装着する際には、交換ピンの領域に絶対に手を入れないでください。

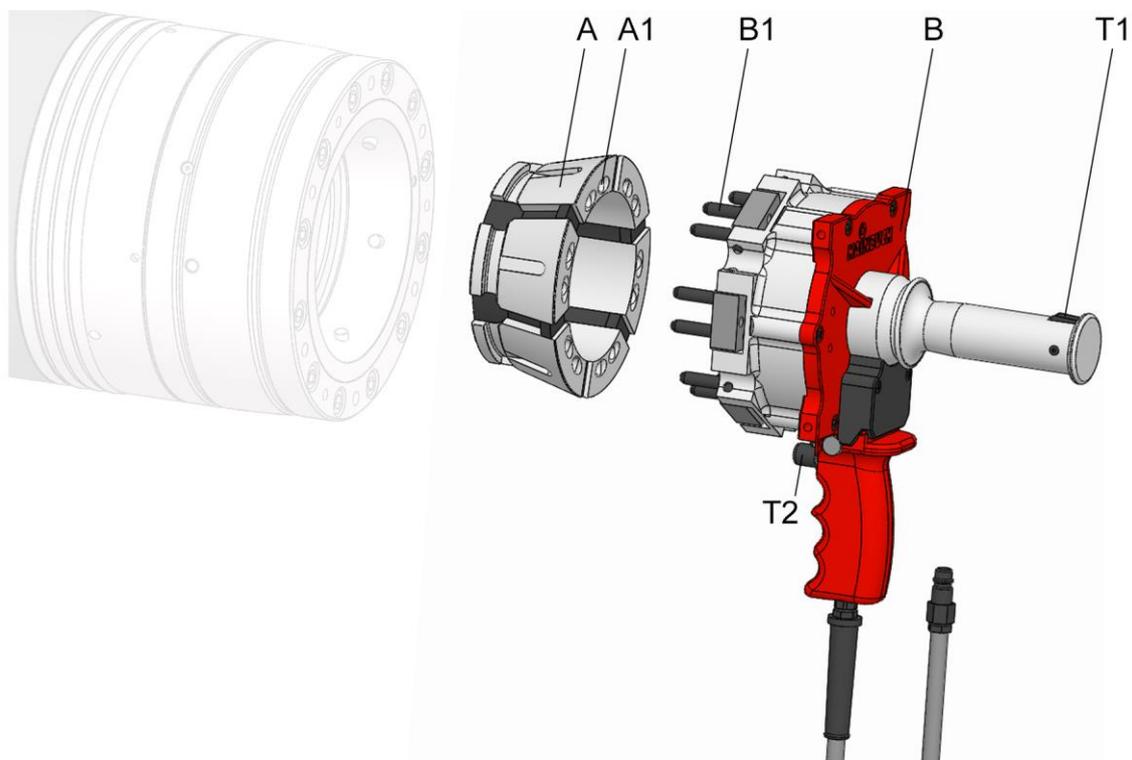


この取扱説明書のほかにも関連するコレットチャックの取扱説明書もお読みになり、その指示に従ってください。

## 7.2 取付けのための機械の前準備

1. 機械を設定モードにします。
2. 作動圧を最小限に下げます。
3. 切削工具や尖った物は作業領域から除去するか、またはそれらにカバーをかけてください。

### 7.3 クランプエレメントの取付け



- A クランピングヘッド
- A1 クランピングヘッドの交換用穴
- B コレット交換工具の片手または両手操作の変更[サイズによって異なります]
- B1 コレット交換工具のピン
- T1 スイッチ T1 [両手操作]
- T2 スイッチ T2 [両手操作]/スイッチ [片手操作]

## 7.3.1 片手操作

1. 「取付けのための機械の前準備」の記載に従い、機械を以下の手順で準備します。
2. コレットチャックをアンクランプ状態にします。



### 警告

許容外の圧力により、重傷を負う危険があります！

- 最大許容圧力は絶対に超えないでください[「一般仕様」の章を参照してください]。
- 常に軽く潤滑した圧縮エアーを使用して下さい。

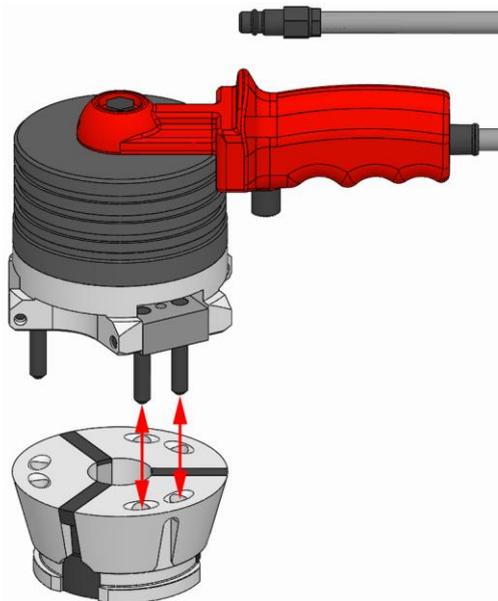


### 警告

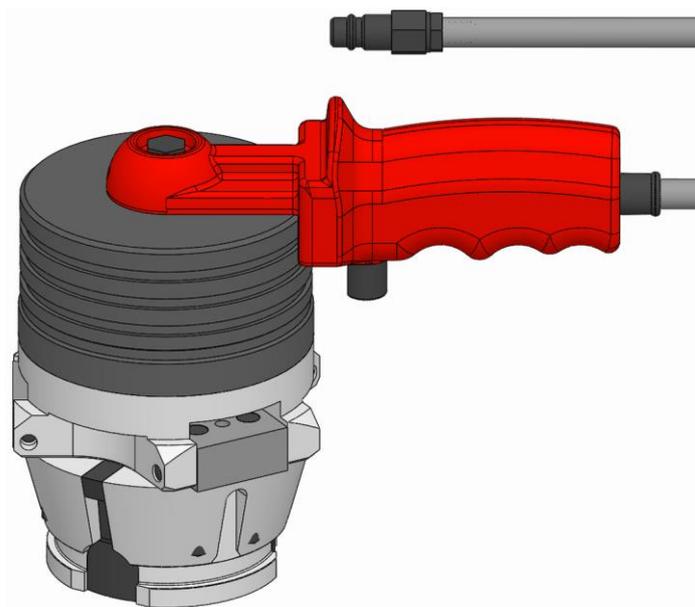
液体ラインの誤った組付けにより、重傷を負う危険があります！

- 液体ラインが正しく接続されていることを確認してください。
- チューブ接続に亀裂がないか、そして確実に固定されているかを確認してください。

3. コレット交換工具を空圧系に接続します。
4. クランピングヘッド交換用穴のある面を上に向けて、クランピングヘッドを水平で安定した表面または適切なホルダーの上に置きます。



5. コレット交換工具のピンとクランピングヘッドの交換用穴が一致するように、コレット交換工具をクランピングヘッドに取り付けます。



**警告**

コレット交換工具を操作する際にクランピングヘッドのカップリング部/隙間部分に手や指を入れると、激しい打撲や裂傷を負う危険があります！

- 作業中は絶対にカップリング部やクランピングヘッドの隙間部分、またはコレット交換工具内に手を入れないで下さい。
- コレット交換工具は、クランピングヘッドが平らな面にある、またはそのために用意された収納ボックスに置かれている場合のみに操作してください。

6. ボタンを長押しして、コレット交換工具を作動させます。

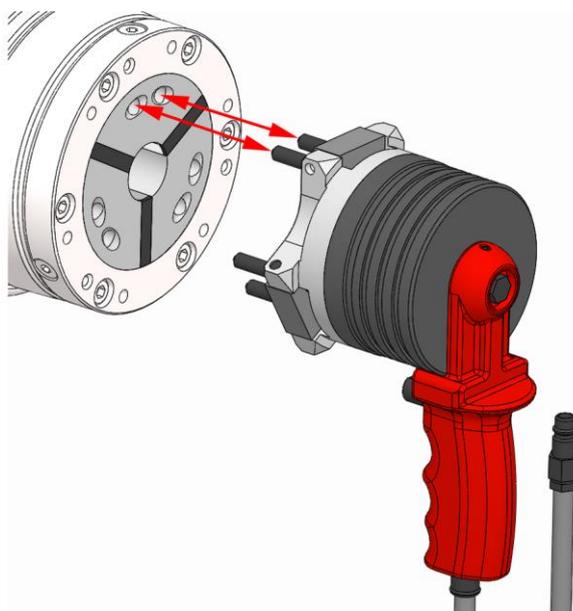


**警告**

制御されていない状態で空圧系を緩めると、クランピングヘッドが落下して、重傷を負う危険があります！

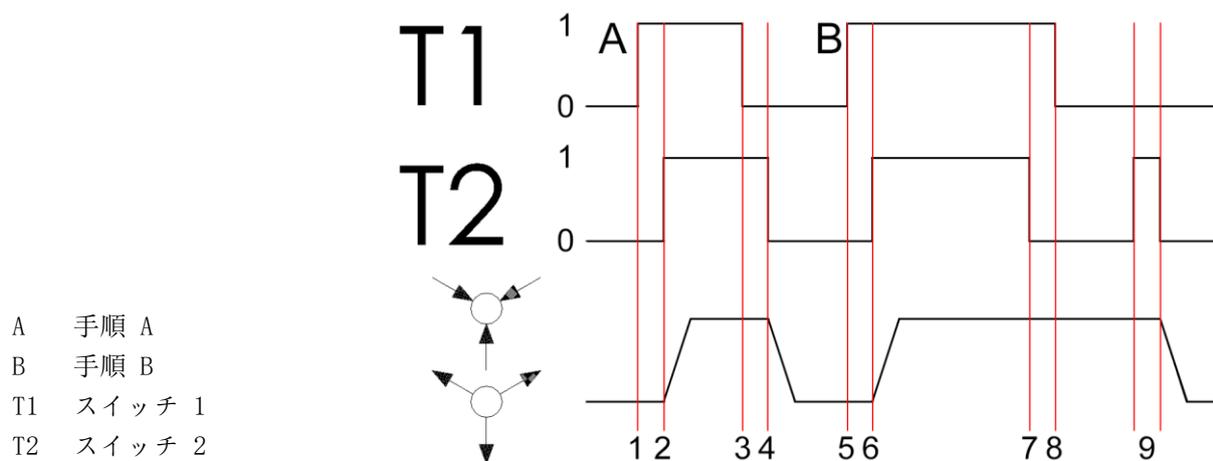
- クランピングヘッドの移動中は、クランピングヘッドをコレット交換工具で固定する必要があります。
- 移動中はボタンを押し続けてください。

7. コレット交換工具とクランピングヘッドをコレットチャックに挿入します[コレットチャックの取扱説明書の「クランプエレメントの取付け」の章を参照してください]。



8. ボタンを放してコレット交換工具を開き、取り外します。

### 7.3.2 両手操作の機能説明図



#### 手順 A

1. スイッチ T1 を押します。
2. スイッチ T2 を押します。
- コレット交換工具は、クランピングヘッドを交換位置に移動します。
3. スイッチ T1 を解除します。
4. スイッチ T2 を解除します。
- コレット交換工具が開きます。

#### 手順 B

5. スイッチ T1 を押します。
6. スイッチ T2 を押します。

- コレット交換工具は、クランピングヘッドを交換位置に移動します。
- 7. スイッチ T2 を解除します。
- 8. スイッチ T1 を解除します。
- コレット交換工具は取付位置に留まります。
- 9. スイッチ T2 を短く押します。
- コレット交換工具が開きます。

### 7.3.3 両手操作

1. 「取付けのための機械の前準備」の記載に従い、機械を以下の手順で準備します。
2. コレットチャックをアンクランプ状態にします。



#### 警告

許容外の圧力により、重傷を負う危険があります！

- 最大許容圧力は絶対に超えないでください[「一般仕様」の章を参照してください]。
- 常に軽く潤滑した圧縮エアを使用して下さい。

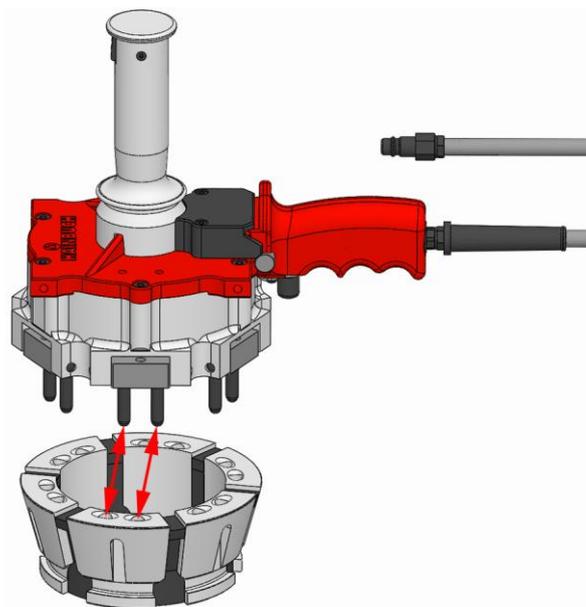


#### 警告

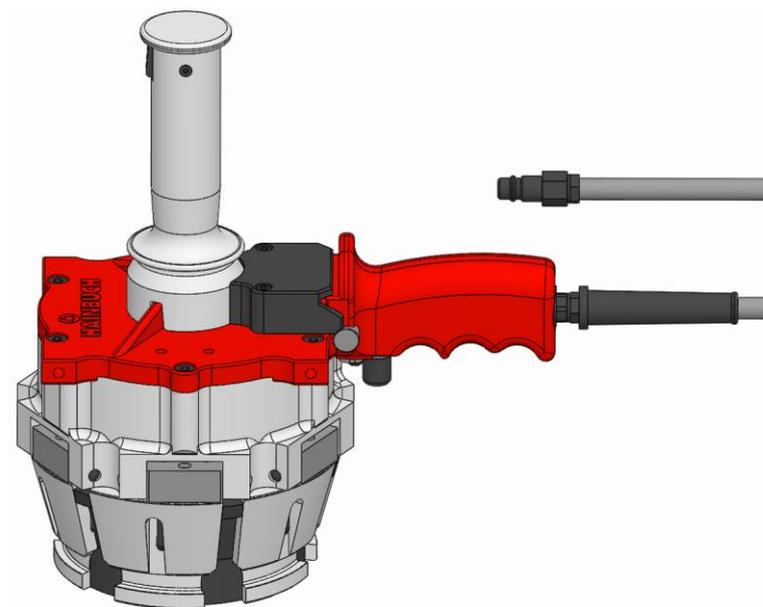
液体ラインの誤った組付けにより、重傷を負う危険があります！

- 液体ラインが正しく接続されていることを確認してください。
- チューブ接続に亀裂がないか、そして確実に固定されているかを確認してください。

3. コレット交換工具を空圧系に接続します。
4. クランピングヘッド交換用穴のある面を上に向けて、クランピングヘッドを水平で安定した表面または適切なホルダーの上に置きます。



5. コレット交換工具のピンとクランピングヘッドの交換用穴が一致するように、コレット交換工具をクランピングヘッドに取り付けます。



#### 警告

コレット交換工具を操作する際にクランピングヘッドのカップリング部/隙間部分に手や指を入れると、激しい打撲や裂傷を負う危険があります！

- 作業中は絶対にカップリング部やクランピングヘッドの隙間部分、またはコレット交換工具内に手を入れないで下さい。
- コレット交換工具は、クランピングヘッドが平らな面にある、またはそのために用意された収納ボックスに置かれている場合のみに操作してください。

6. ボタン T1 と T2 を押し続けて、コレット交換工具を操作します。



#### 警告

制御されていない状態で空圧系を緩めると、クランピングヘッドが落下して、重傷を負う危険があります！

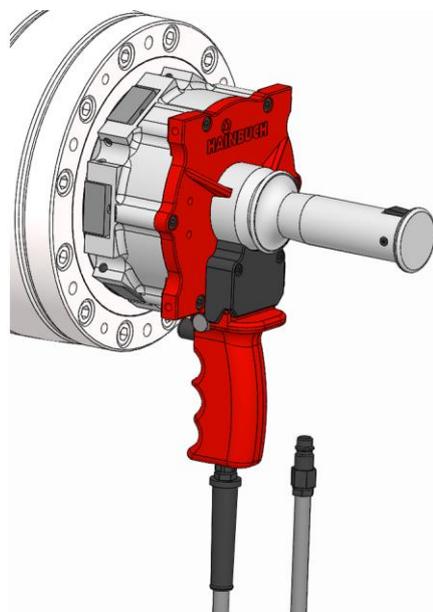
- クランピングヘッドの移動中は、クランピングヘッドをコレット交換工具で固定する必要があります。
- 手順 A の場合：ボタン T2 を押し続けます。ボタンが放されてしまった場合は、T1、T2 ボタンを押し続け、T2 ボタンを長押しして、コレット交換工具を再度操作します。

7. 手順 A 用：コレット交換工具がロックされ、クランプヘッドが固定された状態で維持するために、ボタン T2

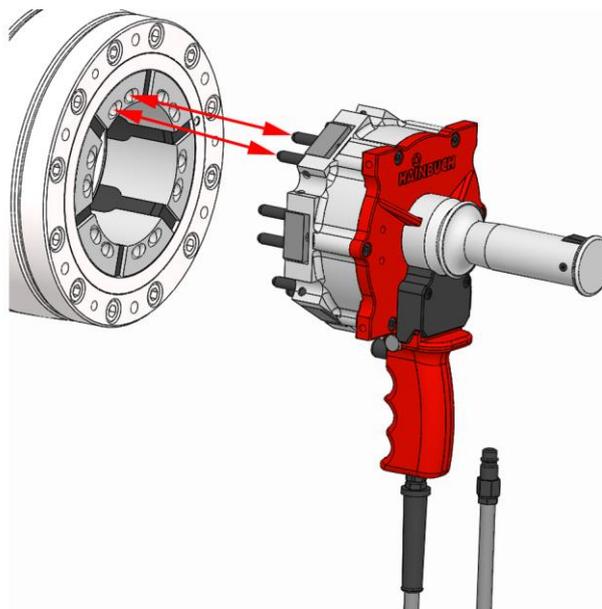
を長押しする必要があります。ボタン T1 は放すことができます。

手順 B 用: まず最初にボタン T2 を放し、次にボタン T1 を放します。これにより、コレット交換工具がロックされ、クランピングヘッドが固定された状態で維持されます。

8. コレット交換工具とクランピングヘッドをコレットチャックに挿入します[コレットチャックの取扱説明書の「クランプエレメントの取付け」の章を参照してください]。



9. 手順 A 用: コレット交換工具を開くには、ボタン T1 がまだ放されていない場合は放します。  
手順 B 用: コレット交換工具を開くには、ボタン T2 を短く押します。

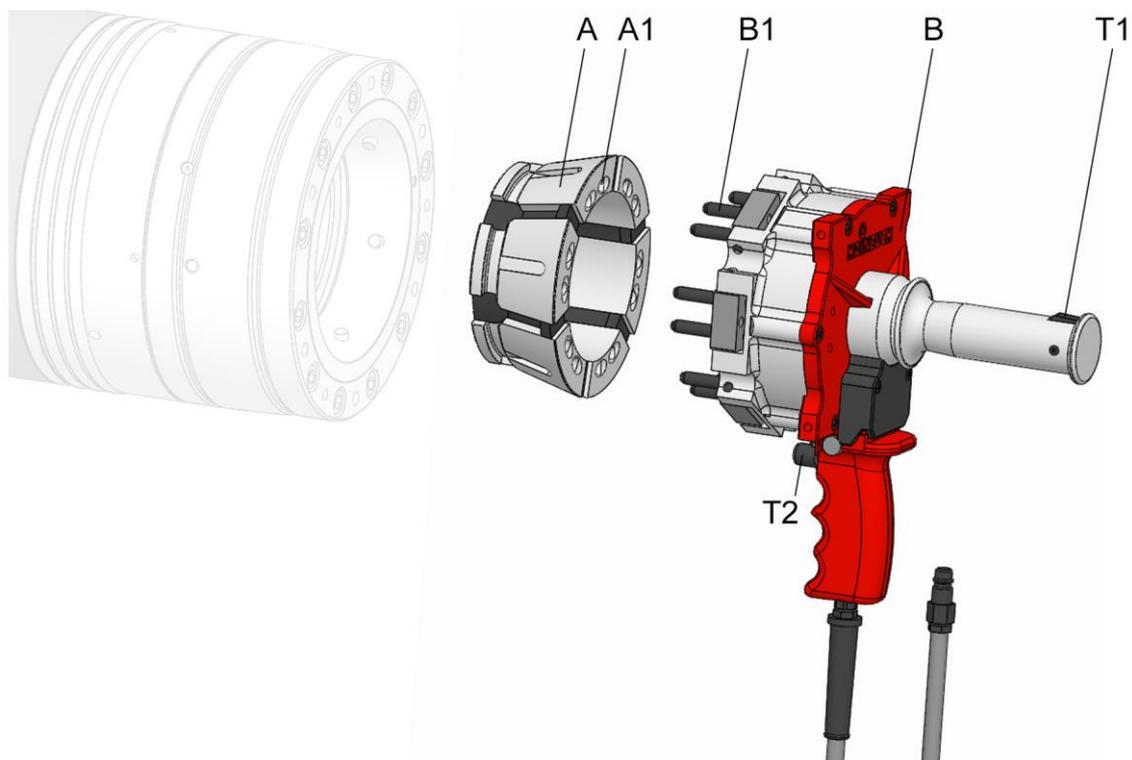


10. コレット交換工具を取り外します。

#### 7.4 取り外しのための機械の前準備

1. 機械を設定モードにします。
2. 作動圧を最小限に下げます。
3. 切削工具や尖った物は作業領域から除去するか、またはそれらにカバーをかけてください。
4. 燃料、添加剤、残った加工用材料を除去し、環境に適切な方法で廃棄します。

## 7.5 クランプエレメントの取り外し



- A クランピングヘッド
- A1 クランピングヘッドの交換用穴
- B コレット交換工具の片手または両手操作の変更[サイズによって異なります]
- B1 コレット交換工具のピン
- T1 スイッチ T1 [両手操作]
- T2 スイッチ T2 [両手操作]/スイッチ [片手操作]

## 7.5.1 片手操作

1. 「取り外しのための機械の前準備」の記載に従い、以下の手順で機械を準備します。
2. コレットチャックをアンクランプ状態にします。



### 警告

許容外の圧力により、重傷を負う危険があります！

- 最大許容圧力は絶対に超えないでください[「一般仕様」の章を参照してください]。
- 常に軽く潤滑した圧縮エアーを使用して下さい。

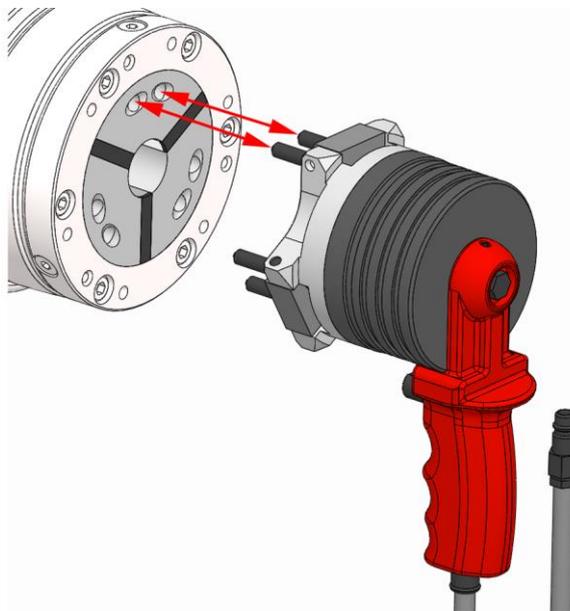


### 警告

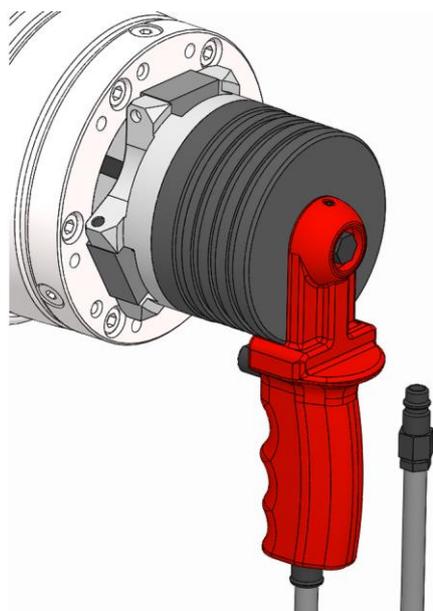
液体ラインの誤った組付けにより、重傷を負う危険があります！

- 液体ラインが正しく接続されていることを確認してください。
- チューブ接続に亀裂がないか、そして確実に固定されているかを確認してください。

3. コレット交換工具を空圧系に接続します。



4. コレット交換工具のピンとクランピングヘッドの交換用穴が一致するように、コレット交換工具をクランピングヘッドに取り付けます。



5. ボタンを長押しして、コレット交換工具を作動させます。

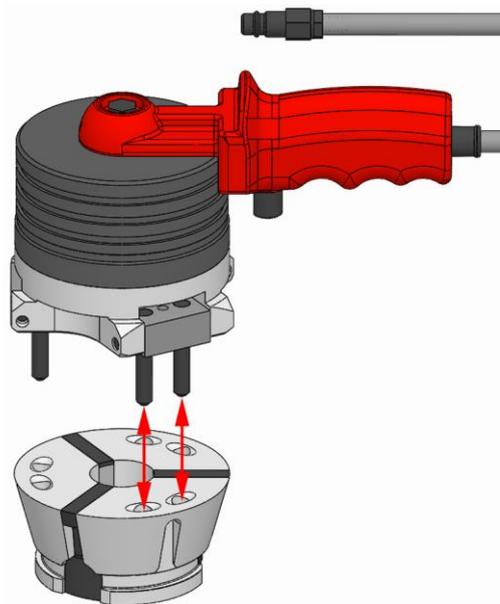


## 警告

制御されていない状態で空圧系を緩めると、クランピングヘッドが落下して、重傷を負う危険があります！

- クランピングヘッドの移動中は、クランピングヘッドをコレット交換工具で固定する必要があります。
- 移動中はボタンを押し続けてください。

6. コレットチャックからコレット交換工具とクランピングヘッドを取り外します[コレットチャックの取扱説明書の「クランプエレメントの取り外し」の章を参照してください]。
7. クランピングヘッド交換用穴のある面を上に向けて、クランピングヘッドを水平で安定した表面または適切なホルダーの上に置きます。



8. ボタンを放してコレット交換工具を開き、取り外します。

## 7.5.2 両手操作

1. 「取り外しのための機械の前準備」の記載に従い、以下の手順で機械を準備します。
2. コレットチャックをアンクランプ状態にします。



### 警告

許容外の圧力により、重傷を負う危険があります！

- 最大許容圧力は絶対に超えないでください[「一般仕様」の章を参照してください]。
- 常に軽く潤滑した圧縮エアを使用して下さい。

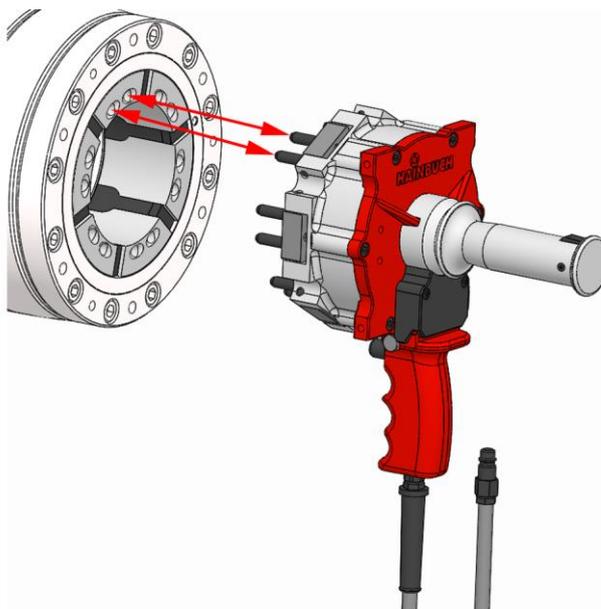


### 警告

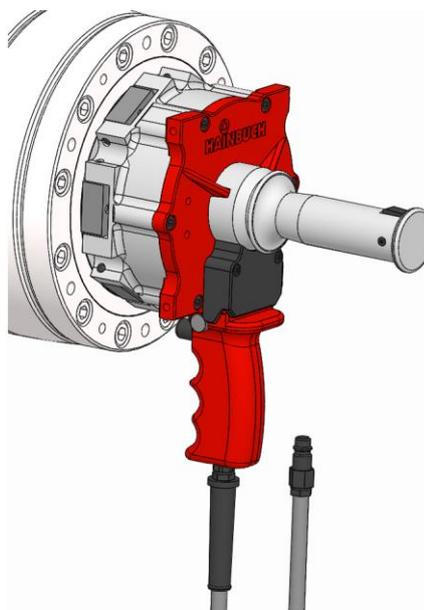
液体ラインの誤った組付けにより、重傷を負う危険があります！

- 液体ラインが正しく接続されていることを確認してください。
- チューブ接続に亀裂がないか、そして確実に固定されているかを確認してください。

3. コレット交換工具を空圧系に接続します。



4. コレット交換工具のピンとクランピングヘッドの交換用穴が一致するように、コレット交換工具をクランピングヘッドに取り付けます。



5. ボタン T1 と T2 を押し続けて、コレット交換工具を操作します。



## 警告

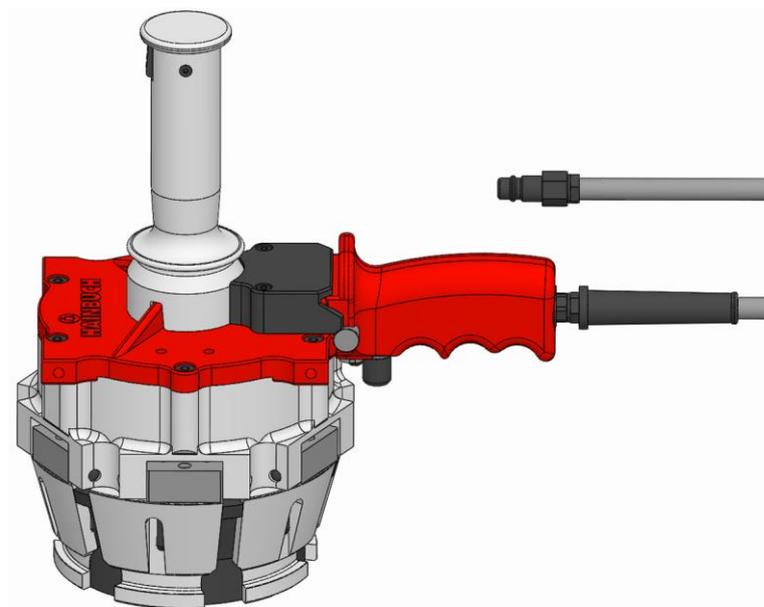
制御されていない状態で空圧系を緩めると、クランピングヘッドが落下して、重傷を負う危険があります！

- クランピングヘッドの移動中は、クランピングヘッドをコレット交換工具で固定する必要があります。
- 手順 A の場合：ボタン T2 を押し続けます。ボタンが放されてしまった場合は、T1、T2 ボタンを押し続け、T2 ボタンを長押しして、コレット交換工具を再度操作します。

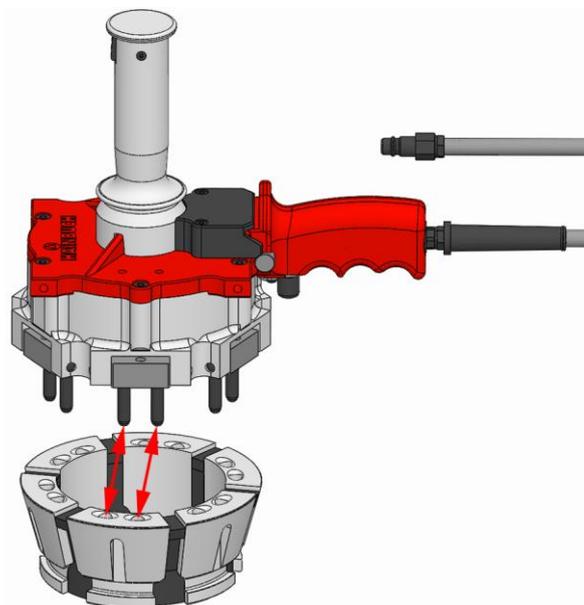
6. 手順 A 用：コレット交換工具がロックされ、クランプヘッドが固定された状態で維持するために、ボタン T2 を長押しする必要があります。ボタン T1 は放すことができます。

手順 B 用：まず最初にボタン T2 を放し、次にボタン T1 を放します。これにより、コレット交換工具がロックされ、クランピングヘッドが固定された状態で維持されます。

7. コレットチャックからコレット交換工具とクランピングヘッドを取り外します[コレットチャックの取扱説明書の「クランプエレメントの取り外し」の章を参照してください]。
8. クランピングヘッド交換用穴のある面を上に向けて、クランピングヘッドを水平で安定した表面または適切なホルダーの上に置きます。



9. 手順 A 用: コレット交換工具を開くには、ボタン T1  
がまだ放されていない場合は放します。  
手順 B 用: コレット交換工具を開くには、ボタン T2  
を短く押します。



10. コレット交換工具を取り外します。

## 7.6 チェック



### 留意事項

破損した、不完全な、あるいは不適切に取り付けられた製品により、工作機械やワークが重大な損傷を受けたり、全損したりすることがあります。

- 破損や不備のない製品のみを組み付けてください。
- 不確かな場合は、製造元にご連絡ください。

## 8 お手入れ

### 8.1 メンテナンス時の安全性



#### 警告

クランプ力が失われると、ワーク飛散により重傷を負う危険があります！

- 製品のお手入れと清掃の間隔は必ず守って下さい。



#### 警告

機械系を不適切に開放することにより、重傷を負う危険があります！

- メンテナンスは製造者のみができるものです。



#### 注意

溶剤の不適切な取り扱いによって、健康を害する恐れがあります。

- 製造元の危険に関する注意事項と安全データシートに従ってください。

### 8.2 メンテナンスのスケジュール

最適で不具合のない運転のために必要となるメンテナンスについては、以降の各セクションで説明しています。

メンテナンスの作業内容とその間隔についてのご質問は、製造者にお問い合わせください（「お問い合わせ」の章を参照）。



#### 警告

不適切なメンテナンスにより、重傷を負う危険があります！

- 本製品の修理は、製造者のみが行うことができます。

### 8.3 清掃



#### 警告

清掃時に保護服を着用しないと、目を傷つけたり切り傷を負ったりすることがあります。

- 製品は決して圧縮エアーで清掃しないでください。
- 基本の装備に加えて、次の安全装備を着用してください。



#### 留意事項

製品を不適切に分解すると、物的損害が生じる可能性があります。

- 製品は絶対に分解してはいけません。



#### 留意事項

誤った溶剤を使用すると、シールが損傷する可能性があります。

- 製品の清掃には、組み込まれたシール材に作用したり、シール材を損傷したりする溶剤を使用しないでください。組み込むシール材の素材は、NBR、バイトン、PUR が可能です。
- 製品の清掃にはエステル系溶剤や極性溶剤を使用しないでください。

1. 取り外すことなくアクセスできる製品の表面はすべて、非エステル系の無極性溶剤と柔らかい、糸くずの出ない布でオイルとグリースを完全に拭き取り、目に見える損傷がないか点検します。

#### 8.4 目視点検

製品の損傷を早期に発見するために、製品の目視検査を毎日実施する必要があります。

このとき製品に亀裂や損傷がないか点検してください。

また、すべての締めネジがしっかりと締め付けられているか、点検する必要があります。

損傷が見つかった場合は、それぞれの部品をメーカー純正のスペア部品と直ちに交換する必要があります。

汚れが激しい場合には製品を清掃する必要があります（「清掃」の章を参照）。

#### 8.5 製品の潤滑

本製品は恒久的に潤滑されているため、運用者が再潤滑する必要はありません。

## 9 廃棄処理

該当する廃棄物の回収既定や廃棄既定がない場合に限り、破損した部品をリサイクルに送ります。



### 注意

制御されていない液剤の漏れメディアにより、怪我を負う危険があります！

- 圧抜きネジを開き、残りの液剤を排出してください。
- 液剤は適切に廃棄してください。



### 留意事項

環境に有害な物質の誤った廃棄により、環境に重大な損傷を及ぼす危険があります！

- 本製品は、完全に空の状態である場合のみ、廃棄することができます。



### 留意事項

環境に有害な物質の誤った廃棄により、環境に重大な損傷を及ぼす危険があります。

- 潤滑剤、添加剤、燃料は危険廃棄物取扱規程に従うものであり、認可を受けた専門の廃棄業者のみ、廃棄することができます。

交換したオイルやグリースは適切な容器に回収し、現地の適用法規制に従って廃棄します。

環境に適切な廃棄方法については、地域の管轄当局または特殊廃棄物専門業者にお問い合わせ下さい。

### 9.1 エア抜き

両手操作の空圧コレット交換工具は、スイッチ T1 と T2 を数回押すことによってエア抜きされます。

## 10 不具合

次の章では各種の不具合の考えられる原因と、それらを解決するための方法を説明します。

次に記載された情報により解決できない不具合の場合は、製造元にお問い合わせください（「お問い合わせ」の章を参照）。

### 10.1 不具合発生時の処置

基本的に、次の対応が当てはまります。

1. 物的損害や人身事故につながる差し迫った危険を伴う不具合が発生した場合は、直ちに緊急停止ボタンを押します。
2. 機能不良の原因を突き止めます。
3. 危険区域でのトラブルシューティング作業が必要な場合は、工作機械を設定モードにします。
4. 職場の責任者に、直ちに機能不良の報告を行います。
5. 不具合の性質に応じて、正規の専門作業員に対応を依頼してください。



#### 情報

次にリストしたトラブルシューティングには、不具合に対する対処を行うべき担当者の責任区分が記載されています。

6. 製品が原因ではない機能不良の場合は、機能不良の原因が工作機械にある可能性があります。その場合は、工作機械の取扱説明書を参照して下さい。

### 10.2 トラブルシューティング

不具合	考えられる原因	トラブルシューティング	対処を行う者
コレット交換工具に張力がありません	クランプの傾きが足りない、又は全く傾いていません	ハインブッフによるサービス	ハインブッフ
コレット交換工具を緩めることができません	クランプの傾きが足りない、又は全く傾いていません	ハインブッフによるサービス	ハインブッフ
クランプ力が小さすぎる	供給圧力不足	機械の設定を確認し、必要な場合は調整してください	専門作業員
	シールの消耗	接続部の液圧を確認し、必要に応じてシールを交換してください	ハインブッフ

不具合	考えられる原因	トラブルシューティング	対処を行う者
クランプ力が大きすぎる	供給圧力過剰	機械の設定を確認し、必要な場合は調整してください	専門作業員
	シールの消耗	接続部の液圧を確認し、必要に応じてシールを交換してください	油圧/空気圧専門作業員
液体の損失	液体接続の欠陥	クランプ装置の接続を確認し、必要な場合は調整してください	ハインブッフ
		機械の接続を確認し、必要な場合は調整してください	工作機械メーカー
クランピングヘッドを挿入できません	コレットチャックがアンクランプポジションにありません	製品のクリーニング ————— ストローク量のチェックを実施します	専門作業員
	クランピングヘッドが汚れています	クランピングヘッドをクリーニングします	
クランピングヘッドを取り外せません	内部エンドストップ	エンドストップを取り外します [コレットチャックの取扱説明書を参照してください]	専門作業員
	コレット交換工具が摩耗しています	ハインブッフによるサービス	ハインブッフ

表 3: 障害表 (トラブルシューティング)

### 10.3 不具合が解決した後の起動

不具合が解決したら、再び稼働する前に次の手順で対処します。

1. 緊急停止をリセットします。
2. 工作機械の操作中断を終了します。
3. 危険区域に人が立ち入っていないことを確認します。
4. 工作機械の稼働を再開します。

## 11 付属書

### 11.1 お問い合わせ

ご注文、配送状況の確認、非常時には、以下のホットラインをご利用ください。

#### ご注文

お電話一本で迅速に対応いたします。電話:

+49 7144. 907-333

#### 配送状況のお問い合わせ窓口

ご注文の現在の状況をお知りになりたい場合は、次の番号にお問い合わせ下さい。

+49 7144. 907-222

#### 24 時間体制の緊急対応窓口

破損事故が発生した、または別の技術的な緊急事態が起こった場合は

専門作業員が対応いたします。

+49 7144. 907-444

ご相談やサポートについては、[www.hainbuch.com](http://www.hainbuch.com) に記載された販売代理店およびサービススタッフにお問い合わせください。

### 11.2 適合宣言

適合宣言は製品およびその説明書と共に納品されます。

## 索引一覧

<b>エ</b>		ヘアネット .....	14
エア抜き .....	48	作業用衣服 .....	13
<b>ス</b>		保護めがね .....	14
スペア部品 .....	9	保護手袋 .....	14
<b>チ</b>		安全ヘルメット .....	14
チェック .....	44	安全靴 .....	14
<b>テ</b>		耳の保護 .....	14
テクニカルデータ .....	19	<b>性</b>	
<b>ト</b>		性能指標 .....	19
トラブルシューティング .....	49	<b>操</b>	
<b>メ</b>		操作員の要件 .....	10
メンテナンスのスケジュール .....	45	専門作業員 .....	11
<b>不</b>		油圧機器専門作業員 .....	11
不具合 .....	49	研修生 .....	11
<b>保</b>		空圧機器専門作業員 .....	11
保管 .....	25	電気技術者 .....	11
保証 .....	9	<b>梱</b>	
<b>危</b>		梱包 .....	24
危険 .....	15	梱包用記号 .....	23
<b>取</b>		<b>概</b>	
取り外し		概要説明 .....	20
クランプエレメント .....	37	<b>構</b>	
機械の前準備 .....	36	構造 .....	20
取付け		<b>清</b>	
クランプエレメント .....	28	清掃 .....	46
機械の前準備 .....	27	<b>潤</b>	
<b>同</b>		潤滑剤 .....	18
同梱品 .....	9	<b>環</b>	
<b>型</b>		環境保護 .....	18
型式の表示 .....	19	<b>用</b>	
<b>安</b>		用語の定義 .....	8
安全		用途に従う適切な使用 .....	11
一般注意事項 .....	10	<b>著</b>	
使用に関して .....	26	著作権 .....	8
輸送、梱包、保管 .....	22	<b>装</b>	
安全性		装置の誤った使用方法 .....	12
メンテナンス .....	45	<b>記</b>	
安全装備		記号の説明 .....	6

## 賠

賠償責任の制限..... 8

## 輸

輸送：社内..... 24

輸送点検..... 23

## 運

運転条件 ..... 19

## 開

開梱 ..... 24

## 防

防錆処理 ..... 25



HAINBUCH GMBH · WORKHOLDING TECHNOLOGY

Postfach (私書箱) 1262 · 71667 Marbach / Erdmannhäuser Straße 57 · 71672 Marbach · Germany

電話 +49 7144.907-0 · ファックス +49 7144.18826 · [verkauf@hainbuch.de](mailto:verkauf@hainbuch.de) · [www.hainbuch.com](http://www.hainbuch.com)

**24 時間体制の緊急対応窓口** +49 7144.907-444

10.2022 · 010.03/0034 JA · 技術的な仕様は予告なく変更される場合があります。